

事項	水田雑草「アメリカアゼナ」の一発処理剤による防除法																							
ねらい	<p>県内の一部水田において、近年、「アメリカアゼナ」が特異的に残草している事例が見られる。</p> <p>このため、平成9年より「アメリカアゼナ」の防除法を検討し、体系処理について平成10年度の参考資料として取りまとめたが、今回、一発処理除草剤による防除効果が確認されたので、一部補完し参考に供する。</p>																							
指導参考内容	<p>1 一発処理除草剤を使用する場合は、アメリカアゼナに対する防除効果が高いプレチクラロール、ペントキサゾン、カフェンストロールを成分とする剤を使用する。</p> <p>2 アメリカアゼナに対して効果の確認された一発処理除草剤と使用時期</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>除草体系</th> <th>除草剤</th> <th>使用時期（始期～晩期）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">初期一発剤</td> <td>ゴルボ1キロ粒剤*</td> <td>田植後5日～10日（ノビエ1.5葉まで）</td> </tr> <tr> <td>ネビロス1キロ粒剤***</td> <td>田植後5日～10日（ノビエ1.5葉まで）</td> </tr> <tr> <td>ザ・ワン1キロ粒剤**</td> <td>田植直後～10日（ノビエ1.5葉まで）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">初中期一発剤</td> <td>スパークスター1キロ粒剤*</td> <td>田植後5日～15日（ノビエ2.0葉まで）</td> </tr> <tr> <td>ダイハード顆粒***</td> <td>田植後5日～15日（ノビエ2.0葉まで）</td> </tr> <tr> <td>ホクト1キロ粒剤*</td> <td>田植後5日～18日（ノビエ2.5葉まで）</td> </tr> <tr> <td>クラッシュ1キロ粒剤***</td> <td>田植後5日～15日（ノビエ2.0葉まで）</td> </tr> <tr> <td>ジョイスター1キロ粒剤***</td> <td>田植後5日～18日（ノビエ2.5葉まで）</td> </tr> </tbody> </table> <p>注）有効成分 *：プレチクラロール、**：ペントキサゾン、***：カフェンストロール</p> <p>3 使用時期は、それぞれの除草剤の処理晩限に使用することで効果が高まる。</p>			除草体系	除草剤	使用時期（始期～晩期）	初期一発剤	ゴルボ1キロ粒剤*	田植後5日～10日（ノビエ1.5葉まで）	ネビロス1キロ粒剤***	田植後5日～10日（ノビエ1.5葉まで）	ザ・ワン1キロ粒剤**	田植直後～10日（ノビエ1.5葉まで）	初中期一発剤	スパークスター1キロ粒剤*	田植後5日～15日（ノビエ2.0葉まで）	ダイハード顆粒***	田植後5日～15日（ノビエ2.0葉まで）	ホクト1キロ粒剤*	田植後5日～18日（ノビエ2.5葉まで）	クラッシュ1キロ粒剤***	田植後5日～15日（ノビエ2.0葉まで）	ジョイスター1キロ粒剤***	田植後5日～18日（ノビエ2.5葉まで）
除草体系	除草剤	使用時期（始期～晩期）																						
初期一発剤	ゴルボ1キロ粒剤*	田植後5日～10日（ノビエ1.5葉まで）																						
	ネビロス1キロ粒剤***	田植後5日～10日（ノビエ1.5葉まで）																						
	ザ・ワン1キロ粒剤**	田植直後～10日（ノビエ1.5葉まで）																						
初中期一発剤	スパークスター1キロ粒剤*	田植後5日～15日（ノビエ2.0葉まで）																						
	ダイハード顆粒***	田植後5日～15日（ノビエ2.0葉まで）																						
	ホクト1キロ粒剤*	田植後5日～18日（ノビエ2.5葉まで）																						
	クラッシュ1キロ粒剤***	田植後5日～15日（ノビエ2.0葉まで）																						
	ジョイスター1キロ粒剤***	田植後5日～18日（ノビエ2.5葉まで）																						
期待される効果	アメリカアゼナの一発処理剤による効率的な防除ができる。																							
利用上の注意事項	<p>1 アメリカアゼナはノビエより発生が遅れるが、生育が進むと防除効果が劣ることが報告されているので、除草剤の使用期間内に発生が確認された場合は、除草剤の処理晩限にかかわらず直ちに散布する。</p> <p>2 カフェンストロール含有剤を使用する場合は、残効がやや短いことから、後発生が懸念されるため、アメリカアゼナの多発田での使用は避ける。</p>																							
担当	青森県農業試験場 栽培部	対象地域	県下全域																					
発表文献等	平成9～10年度青森県農業試験場成績概要集																							

【根拠となった主要な試験結果】

表1 田植後日数とアゼナ類及びノビエの発消長

(平成10年 青森農試)

月 日	田植後日数	イネ葉齢	ノビエ葉齢	アゼナ類
5/13	+ 0	2.2	未発生	未発生
5/18	+ 5	2.4	未発生	未発生
5/20	+ 7	2.5	1.5L	未発生
5/22	+ 9	3.2	2.0L	未発生
5/23	+10	3.4	2.5L	未発生
5/29	+16	5.3	3.5L	極小双葉 (未確認)
6/ 4	+22	—	4.5~5.0L	本葉1.5~2.0対
6/ 8	+26	—	5.0以上	発生始~本葉2.0対

表2 アメリカアゼナ及びアゼナに対する除草効果

(平成9~10年度 青森農試)

除草剤名	年次	イネ移植あり				イネ移植なし					
		平成10年				平成9年		平成10年			
		調査日	7/9(移植後57日)	8/4(移植後83日)	7/9(移植後55日)	7/9(移植後55日)	8/4(移植後81日)				
無 処 理	—	—	100	—	100	—	100	—	100	—	100
ザーク1キロ粒剤75	ノビエ2.0葉	100	◎	100	◎	100	◎	100	□	100	X
ゴルボ1キロ粒剤	+ 5	—	—	—	—	○	◎	—	—	—	—
ダイハード顆粒	+ 5	—	—	—	—	○	◎	—	—	—	—
カルショットフロアブル	+ 5	—	—	—	—	X	◎	—	—	—	—
アワードフロアブル	+ 5	—	—	—	—	○	◎	—	—	—	—
クサメツフロアブル	+ 5	—	—	—	—	X	◎	—	—	—	—
ワンベストフロアブル	+ 5	—	—	—	—	○	□	—	—	—	—
ユートピア粒剤	+ 5	◎	◎	◎	◎	—	—	◎	◎	◎	◎
ザ・ワン1キロ粒剤	+ 5	◎	◎	◎	◎	—	—	◎	◎	◎	◎
	ノビエ1.5葉	◎	◎	◎	◎	—	—	◎	◎	◎	◎
ネビロス1キロ粒剤	+ 5	◎	◎	◎	◎	—	—	◎	◎	◎	◎
	ノビエ1.5葉	◎	◎	◎	◎	—	—	—	—	—	—
スパークスター1キロ粒剤	+ 5	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎
	ノビエ2.0葉	◎	◎	◎	◎	—	—	◎	◎	◎	X
シンザン1キロ粒剤	+ 5	△	○	▲	X	◎	X	—	—	—	—
	ノビエ2.0葉	△	○	○	X	—	—	◎	◎	○	X
クラッシュ1キロ粒剤	+ 5	◎	◎	△	◎	—	—	—	—	—	—
	ノビエ2.0葉	◎	◎	△	◎	—	—	◎	◎	○	X
ホクト1キロ粒剤	+ 5	○	◎	◎	□	—	—	◎	◎	◎	◎
	ノビエ2.5葉	◎	◎	◎	◎	—	—	◎	◎	◎	◎
ジョイスター1キロ粒剤	+ 5	◎	◎	△	◎	—	—	◎	◎	◎	◎
	ノビエ2.5葉	◎	◎	○	◎	—	—	◎	◎	◎	◎
トップラン1キロ粒剤	+ 5	◎	◎	○	◎	—	—	◎	◎	◎	◎
	ノビエ1.5葉	◎	◎	○	◎	—	—	—	—	—	—

注) アメリカアゼナに対する除草効果はザーク1kg粒剤75の風乾重を100とし、アゼナでは無処理区の風乾重を100として、下記の区分で判定した。

除草効果 (残草量の風乾重比)

◎: 極大 (0~0.1)、○: 極大 (1.1~10)、□: 大 (11~20)、△: 中 (21~40)、▲: 小 (41~60)、

X: 無 (61以上)